

令和5年度第2回高梁市在宅医療・介護連携推進協議会（議事録）

日 時 令和5年11月10日（金）

19時～19時55分

場 所 高梁市役所 2階 保健センター

出席者 仲田会長、鶴見副会長、草野副会長、野村委員、樋口委員、笹川委員、磯村委員、
原田委員、大久保委員、笹井委員、佐藤委員、猪元委員、細川委員、内田委員
欠席者 西副会長、竹崎委員
事務局 内岡次長、山本参事、赤木所長補佐、森本所長補佐、片山保健師

1 開 会（進行：内岡次長）

・委員交代 中田公人委員 → 樋口 将委員

2 あいさつ

（仲田会長）

今日は主にはICTを活用した医療介護連携と医療・介護市民公開講座の話が中心になりますが、いろいろと意見をいただきたい。

3 協議事項（進行：仲田会長）

（1）ICTを活用した医療・介護の情報連携（P4～13 事務局説明）

①ラインワークスを活用したネットワークシステムの導入

②ケアキャビネット（やまぼうし）

（佐藤委員）

実務者部会でいろいろと検討してきたが、使用してみて特段トラブルはなく、使い勝手は非常にスムーズなものかなと思う。細かい点での修正は必要になるかもしれないが、概ね順調に試行できているので、本稼働へ移行しても問題ないと思う。

（笹川委員）

普段ラインを使われる方は多いと思うが、ラインワークスはほとんどラインと一緒になので、アクセスの仕方、画像やファイルの添付は慣れたら簡単に出来ると思う。セキュリティ面をきちんとすれば問題ないと考えている。

（鶴見副会長）

やまぼうしはいろいろな面で問題があった。繋がりにくくなるとか、端末がアップル製品でないとダメでそれを使ってない場合は新たに購入する必要があった。セキュリティを重視したがために患者さんに許可を得るための手続きや、誰が許可を与えるかというような厳しい制限を設けたので使いにくかったのだろうと思う。ラインワークスの場合利用者からの許可やセキュリティ面はどのようになるのか。

（佐藤委員）

利用者の許可、同意については、基本的に介護サービスの場合はケアマネジャーが事前に許可、同意をとる形になる。医療機関は包括同意がある。患者が介護サービスを利用する場合はケアマネジャーと連携するという包括同意があるので、それで大丈夫だと思う。

（事務局）

セキュリティ面については、厚生労働省のガイドラインを確認しているし、万全であるという回答をシステム業者からいただいている。

(鶴見副会長)

ラインワークスは基本的に介護保険をベースとしてのやり取りであって、医療についてのやり取りは入らないのか。介護に関係しない部分、医療と医療のやり取りはラインワークスでは不都合ということになるのか。

(事務局)

医療と介護、介護と介護というような区切りが必要だとは思っていない。今まで電話やファックス、メールで情報を出されていると思うが、ラインワークスも情報を出すツールの1つという風に考えて、ラインワークスを使って情報を出す場合は、医療機関や介護事業所等で判断をして出していただくようになると思う。

(佐藤委員)

医療の場合は、例えば紹介状を出す時には患者に説明をして、そこで同意を取って、FAX等で流されると思うが、そのFAXがラインワークスになるというイメージ。そこでの患者との口頭での同意という形になると思う。

(鶴見委員)

一応口頭で許可を得た方がいいですかね。

(猪元委員)

医療情報のセキュリティについて確認しましょうか。確認させてください。

(事務局)

医療情報システムの安全管理に関するガイドラインというものが厚生労働省から出ている。その中で通信の暗号化、盗聴等の防止がされているのか、ネットワークに対する安全管理がされているのか、不正な通信の検知や遮断、監視がされているのか、利用者認証をしているのか、アクセス権限の管理をしているのか、リスクアセスメントを踏まえた安全管理対策の設計管理ができていないのかと書かれているが、こちらの内容をシステム業者に確認をしてクリアするという返事をいただいている。

(仲田会長)

紹介状をラインワークスで送る、受け取る。ラインワークスにその紹介状の書面が残る。これはどうするのか。

(事務局)

ラインワークスは最大3年間保存できる。削除ももちろんできる。

(仲田会長)

皆さんが自由に入って来て閲覧されるとまずい。

(事務局)

自由にはできない。限られた権限のある人、ID付与されて、さらに自分が送った相手しか見えない。

(仲田会長)

ラインワークスの中でグループを組んでその中で情報が行ったり来たりしている場合、他の人はその中に立ち入ることはできないという風に理解したらいいか。

(事務局)

はい。そういうこと。

(細川委員)

病院は1IDなので病院の中では他の人も自由に閲覧できてしまう。

(鶴見委員)

それは守秘義務があるからその診療における情報共有というのは許されると思う。

(仲田会長)

おそらくラインワークスの端末は病院の場合は地域連携室に置くと思う。そこでの管理をき

っちりされていけば問題ないと思う。

(鶴見副会長)

使う人が意識を持ってしっかりセキュリティを保つということが一番大切。どんな形でも悪意を持ってそれを盗み出してばらまくという行為があった場合は、何らかの罰則がある。

(仲田会長)

セキュリティはハードの面は気付けても、やっぱりソフト面が一番危ない。ソフト面は人間なので、それぞれの人がセキュリティに対する意識をスタートした後もきっちりしていただきたい。

(事務局)

これまでコアメンバー会議や実務者部会で協議してきているが、運用ルールというものをしっかり定めて始めたいと思っている。

(野村委員)

ラインワークスは有料と無料があると説明があったが、何がどう違うのか。

(事務局)

どれぐらいの人数がどれぐらいの情報量でラインワークスを使えるか、ユーザーの数であるとか、データのやり取りが可能な容量の大きさが料金プランによって制限されている。無料プランだと高梁市全体の規模では使えない。高梁市の医療機関、介護事業所の数では450円のプランだと十分賄えるだろうという判断で採用している。

(野村委員)

各施設で通信環境を整えてくださいと言われたが、何か特殊な通信環境が必要か。

(事務局)

Wi-Fi などインターネット環境があれば使用可能。

(仲田会長)

ラインワークスで音声入力はあるか。

(佐藤委員)

音声を文字にするのではなく音声のまま送ることができる。

(仲田会長)

それではこの件は前に進めていきたいと思う。

(野村委員)

昨日岡大の先生から i ピックスというシステムを紹介された。それについて消防本部として何か考えがありますか。

(内田委員)

吉備中央町のデジタル田園都市国家構想により、周産期の関係で岡大の先生から発案があり導入された経緯があった。まずは周産期で導入がされて、岡山、倉敷、津山、笠岡、新見が i ピックスを入れていると思う。高梁市は周産期の病院がないので導入には至っていない。県全体として i ピックスを入れていこうという要請もまだない。

(仲田会長)

昨日県の方と岡大の先生から i ピックスの説明を聞いた。すでに3病院には導入されている。この地域で使うのなら消防署がオクケーと言えど動くと思う。ただどうやってやるかまだ詳細を決めていないので、可能だという話だけ。

(内田委員)

消防署には正式要請はない。県全体で消防がどうしていくかということもまだないので導入には至っていない。

(野村委員)

最初は周産期の話だったが、昨日の外部の先生によると、施設からやりたいという話もあつ

た。またそういう話があるかと思う。

(仲田会長)

将来的には消防署と病院と診療所が絡んだ、あるいは在宅の救急に関してはiピックスとの2本立てになる可能性もないことはないと思うがこれもお金がかかるので、そのところもラインワークスで全部できるのならラインワークスでやってもいい。しかし、市外の地域との結びつきは二度手間になるかもしれないので、その辺のところは将来的な検討事項になると思う。ラインワークスは市内であれば病院、診療所、施設、全部オッケーだが、それが市外と結ぶとなると、もう1回手間を入れないといけない。

(鶴見副会長)

具体的に消防署が市外の病院とコンタクトをとるのはどうするのか。

(内田委員)

高齢者の情報をiピックスを使って携帯等に送ってもらって、その情報を消防が入手して、それを医療機関へ伝えるということだと思うが、使ってないので詳しいことはわからない。

(仲田会長)

これからの検討事項。遠くない将来に結論は出さないといけないと思う。

(事務局)

ラインワークスについては、この案のとおり来年度の予算要求をさせていただこうと思う。

(2) 令和5年度高梁市医療・介護市民公開講座 (P14 事務局説明)

(仲田会長)

寸劇は前回の流れで進められるのか。今回何か変更はあるのか。

(事務局)

今回は家族の中で人生会議をするというところにスポットを当てている。前回は主人公の松代と娘が人生会議をするというところを演じてもらったが、今回はそこへ県外に住む息子が帰って来て娘と意見が対立するというストーリーになっている。主にケアマネジャー、松代、娘、息子を演じていただこうと思っている。

(仲田会長)

この案のとおり進めていただきたい。今回は市内の大学生、高校生にも呼び掛けて若い人たちにも見ていただくと大変意義があると思う。

(猪元委員)

保健医療計画の案が出来ている。公表できる時期になったら公表する。お世話になりました。

4 その他

- ・多職種連携研修会について (事務局説明)
- ・家族介護者交流事業について (事務局説明)

5 閉 会

(草野副会長)

ラインワークスは多くの事業所、すべての事業所に入っていただくことで大きなメリットにつながっていくと感じた。医療・介護市民公開講座の寸劇は年々スケールアップしている。